

平家物語生成考

浜畑圭吾 著

2014年11月刊行

A5判・320頁／定価:本体7,000円(税別) ISBN978-4-7842-1769-4

平家物語は、単なる本文異同にとどまらず、享受と改変が繰り返され、様々なヴァリエーションを生み出していった物語である。治承寿永の源平争乱という“歴史”を題材に、様々な“物語”——諸本を生成してきた編者たちの思惑とは、何であったのか。本書では、平家物語諸本の比較を通して独自の表現や記事、改変された部分をあぶり出し、その基盤の追究から、物語生成の動機や場、背景をつぶさに考察する。

内容目次

はじめに

本書の問題意識*本書の構成

第1編 延慶本平家物語と『宝物集』

第1章 燈台鬼説話の位置

諸文献の燈台鬼説話との比較*『宝物集』諸本との関係*延慶本の方法

第2章 「六代高野熊野巡礼物語」の展開

『宝物集』と延慶本「六代高野熊野巡礼物語」の比較*他の諸本における「六代高野熊野巡礼物語」の展開*六代の「出家」

第2編 長門本平家物語の展開基盤

第1章 位争い説話の展開

平等坊の慈念僧正延昌*「和尚の末の門弟」*尊勝陀羅尼の効験*長門本の独自記事の源泉

第2章 三鈷投擲説話の展開

平家物語諸本における三鈷投擲説話*三鈷投擲の目的*相伝される「三鈷」*「金松」「三鈷松」成立の背景

第3編 南都異本平家物語と熊野三山

—「維盛熊野参詣物語」をめぐる—

熊野三山参詣の経路*「那智」の称揚とその背景*「那智三山」の称揚*山籠もり修行と「後生」

第4編 『源平盛衰記』と地藏信仰

第1章 西光廻地藏安置説話の生成

西光廻地藏安置説話の独自性*『盛衰記』における西光墮地獄の可能性*西光と地藏*六地藏の利益*造像の功徳

付 章 西光と五条坊門の地藏菩薩

古本系諸本との比較*西光五条坊門地藏菩薩安置説話の生成*西光地藏菩薩安置伝承の系譜*「五条坊門」と西光*「五条坊門」(壬生寺)の地藏

第2章 忠快赦免説話の展開

他文献との比較*忠快の母*忠快所持「三寸ノ地藏菩薩」像の造形*折れた左手*忠快赦免説話の現世利益

第3章 「髑髏尼物語」の展開

諸本における「髑髏尼物語」の位置*『盛衰記』における重衡の若君*『盛衰記』における救済の方法*「髑髏尼物語」の移動

第4章 「重衡長光寺参詣物語」の生成

平家物語諸本における重衡東下り*「長光寺縁起」と太子伝*「長光寺縁起」の生成環境*重衡と維盛

第5編 「共通祖本」の生成基盤

第1章 「旧延慶本」における阿育王伝承

「旧延慶本」から四部本へ*史料における増位寺の性格*阿育王伝承の流布*阿育王八万四千塔伝承が繋ぐ増位寺と「章綱物語」

第2章 「旧南都異本」と『高野物語』の関係

延慶本・長門本・南都異本と『高野物語』本文の関係*『高野物語』における観賢僧正説話の構成*「旧南都異本」再編集の方法と意図

おわりに

平家物語の「唱導性」*敗者救済の眼差し

はまはた・けいこ...1978年生。龍谷大学大学院文学研究科博士課程単位取得。博士(文学)。現在、高野山大学文学部助教。主な論著に、『源平盛衰記』『髑髏尼物語』の展開(『軍記物語の窓』第四集,和泉書院,2012年)、『源平盛衰記』「長光寺縁起」の生成(『国語と国文学』2013年4月号)など。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票

発行:思文閣出版

(京都 取引コード 3402)

冊数	冊	平家物語生成考	本体7,000円(税別) ISBN978-4-7842-1769-4
お名前		tel	
		e-mail	
ご住所	〒		
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由(このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代引(書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)		書店番線印

本書HPのQRコード

書店番線印

※延慶本『平家物語』の説話と学問

牧野和夫著

応永書写（延慶書写奥書）『平家物語』とそこに離合・集散したもろもろの「文・物」を、個々の「説話」を開いて解いてみる試み。生成の場のひとつに「伝法院」を仮に想定し、『太平記』生成の初期の「動向」と『三国伝記』の生成と応永書写延慶本『平家物語』とをゆるやかに結ぶ“ネット”を明らかにしようとする。

▶A5判・402頁／本体12,000円

ISBN4-7842-1258-2

源平の時代を視る

二松学舎大学学術叢書

二松学舎大学附属図書館所蔵 奈良絵本『保元物語』『平治物語』を中心に磯水絵・小井土守敏・小山聡子編

二松学舎大学東アジア学術総合研究所の共同プロジェクトの成果

【執筆】磯水絵／石川透／小井土守敏／小森正明／山本陽子／出口久徳／小山聡子／山田雄司／恋田知子／源健一郎／佐藤進／麻原美子／松尾葦江

▶A5判・278頁／本体4,800円

ISBN978-4-7842-1735-9

典籍と史料

大取一馬編

龍谷大学仏教文化研究叢書

真宗学・仏教学・史学・国文学などの広汎な仏教文化の最新研究成果

【執筆】内田美由紀／鈴木徳男／安井重雄／岩井宏子／小田剛／日比野浩信／浜畑圭吾／加美甲多／酒井茂幸／小山順子／三浦俊介／田村正彦／關根真隆／大取一馬／玉木興慈／楠淳澄／後藤康夫／新倉和文／原田信之／三輪正胤／日下幸男／内田誠一／万波寿子

▶A5判・686頁／本体8,500円

ISBN978-4-7842-1592-8

平家物語（全4巻）

大取一馬 責任編集

龍谷大学善本叢書

龍谷大学図書館所蔵写字台文庫旧蔵の「平家物語」全12巻を影印で収録。同書は語り本系一方流諸本の中で覚一本の最善本として高く評価され、文学的に最も完成された伝本といわれる最古写本。岩波本「日本古典文学大系」の底本となったものである。

▶A5判・平均520頁／本体42,000円

ISBN4-7842-0794-5

平家物語覚一本新考

高橋貞一著

平家物語には様々な異本が存在する。本書では12巻の覚一本を最も信憑すべき伝本とし、覚一本を読む中で気づいた諸点をあげながら、その成立根拠を確認し、覚一本から派生した八坂流本の成立流伝に注目すべき本文を引用して、比較・検討した。平家物語研究に新たな知見を提供する一書。

▶A5判・418頁／本体9,600円

ISBN4-7842-0785-6

※続平家物語諸本の研究

高橋貞一著

昭和18年『平家物語諸本の研究』において注目された著者が長い間の平家物語伝本の研究の成果を再び学界に問う。

【内容】第一章 一流より八坂流へ移る初期の諸本／第二章 八坂流甲類諸本／第三章 八坂流乙類諸本／第四章 増補せられた諸本／第五章 その他の研究／第六章 附載論文

▶A5判・610頁／本体9,800円

ISBN4-7842-0175-0

※平家物語 百二十句本

高橋貞一校訂

百二十句本の伝本としては、古く国会図書館蔵の九冊本と京都府立総合資料館蔵本が知られていたが、更に天理大学蔵本（大島氏旧蔵）、安田文庫蔵本、天理大学蔵本（鍋島家旧蔵）と国会図書館蔵本（古典文庫影印）が加わった。本書は総合資料館蔵の翻印であるが、平仮名本である性質上、平家物語研究者のみならず、国学的にも貴重な資料。

▶A5判・668頁／本体4,000円

ISBN4-7842-0135-1

『狭衣物語』享受史論究

川崎佐知子著

『狭衣物語』の受容の様相を文献学的見地から徹底的に分析検証し、連歌師紹巴が天正18年に著した『狭衣下紐』を享受史の中核に位置づけた。陽明文庫所蔵『狭衣下紐』2種（近衛信尹筆外題・近衛尚嗣筆外題）、宮城県図書館伊達文庫蔵『狭衣物語抄』（猪苗代兼寿作）ほか未紹介資料5種を全文完全翻刻掲載。

▶A5判・640頁／本体12,000円

ISBN978-4-7842-1486-0

太平記的世界の研究

八木聖弥著

国文学の本文研究、歴史学の事実認定に偏してきた『太平記』、『太平記』の描く時代を広く文化史的視点から論じ、多様な価値観が結合されたその時代性を浮き彫りにする。

【内容】研究史／『太平記』とその時代／『太平記』的世界の信仰／猿楽能と『太平記』的世界／『太平記』的世界から幽玄の世界へ

▶A5判・290頁／本体6,800円

ISBN4-7842-1021-0

日本文学とその周辺

大取一馬編

龍谷大学仏教文化研究叢書

龍谷大学仏教文化研究所の研究者陣による指定研究、「龍谷大学図書館蔵中世歌書の研究」（平成23～25年度）において問題になった諸点や、温めてきた問題の論文を三部構成にまとめた一書。時代や分野が異なった専門領域をもつ各研究員により、研究テーマの和歌文学にとどまらず、多岐にわたる内容の論文を収録。

▶A5判・626頁／本体8,400円

ISBN978-4-7842-1771-7

※中世の文学と学問

大取一馬編

龍谷大学仏教文化研究叢書

【内容】はしがき（大取一馬）第一章 中世の学問（三輪正胤／安井重雄／来田隆）第二章 中世の文学【第一節 和歌文学の研究】（鈴木徳男／小山順子）【第二節 物語文学の研究】（忠住佳織／松田美由貴／浜畑圭吾／宮川明子）第三章 中世の作品の享受とその展開（西山美香／中條敦仁／小林強／万波寿子／日下幸男）

▶A5判・492頁／本体8,400円

ISBN4-7842-1271-X

※太平記

龍谷大学善本叢書

大取一馬 責任編集／加美宏・浜畑圭吾解説

龍谷大学図書館所蔵の『太平記』は、室町時代末期の写本で、巻1から巻12までの12冊である。現在の分類では丙類の天正本系統に分類され、国立国会図書館蔵義輝本と同じ祖本をもつ伝本であるという位置づけがなされている。寫字臺文庫本の一つである当該本を影印で収録。

▶A5判・794頁／本体15,000円

ISBN978-4-7842-1365-8

高橋貞一 国文学論集

高橋貞一著

『平家物語諸本の研究』という画期的な名著をはじめ、『保元物語』『平治物語』は勿論、『義経記』『太平記』など軍記物の研究では他の追随を許さぬ一大金字塔を打ち建てた高橋貞一博士の古稀記念出版。本書には、氏の主領域を越えて国文学全域に注がれた氏の考察を窺える諸論稿22篇と六代領事記新註を収める。

▶A5判・376頁／本体7,500円

ISBN4-7842-0195-5

太平記諸本の研究

高橋貞一著

本書は、「太平記」の諸伝本を四系統に大別し、それぞれの伝本の性質、成立事情を考究、またその出典を国書、漢籍、仏典と分類して総合的に検討する。「太平記」の性格を究明し、その基礎的研究としては空前のものである。

▶菊判・860頁／本体15,000円

ISBN4-7842-0181-5

※新校 太平記（全2巻）

高橋貞一校訂

現在世に流布する「太平記」は、室町末期成立の四十巻本であるが、その旧態をとどめる古写本の印行は、神田本と西源院本のみである。この神田本によって増補された所を旧形に復し、その欠失する巻々を西源院本によって補い、更に今川家本相承院本等を参照して誤説を訂正、一般読者のために旧態の「太平記」を提示する。

▶菊判・総1300頁／揃本体19,000円

※後鳥羽院政の展開と儀礼

谷昇著

本書は、後鳥羽天皇（上皇）が課せられた政治課題とそれに対する対応＝政策理念が、宮中の儀式・行事である公事と修法・寺社参詣参籠等宗教儀礼の中に具現しているとする視点から、それらが果たした政治的役割を個別具体的に検証することにより、多面的な視点に立った後鳥羽理解、政治史叙述を企図したものである。

▶A5判・328頁／本体6,000円

ISBN978-4-7842-1536-2

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。

電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。 ※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。